

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	地域の利用者のニーズに即したサービス提供に努め、利用者本位の事業運営を行っている
	内容	事業所は利用者ニーズに即したサービス提供を理念としており、地域に不足しているサービスを提供するために、生活介護事業を始めとして就労継続支援B型、グループホーム、ショートステイなどの事業を順次整備してきた。また、グループホームやショートステイなどにおいては、地域に受け入れ先の不足している重度者を優先的に受け入れており、とりわけ、グループホームにおいては必要度の高い人に使ってもらうなど、事業職員の設置目的が明確であり、地域にとって必要不可欠な機能と役割を担っている。
2	タイトル	具体的な支援内容を個別支援計画にしており、多様な職員構成でありながら、情報共有を促してつながる支援となっている
	内容	24時間体制のグループホームでは常勤職員だけでなく、再雇用、シルバー人材、すでに退職していた等様々な形態の職員が利用者を支えている。利用者個別の計画は具体的な支援内容で構成されており、日誌には利用者個別の状況から次の担当職員に引き継ぐべき内容が詳細に記述され、携わるすべての職員がその情報を共有して、跡切れのない支援となっている。具体性を持った計画と、日々の支援があり、日中作業を含めた利用者の1日が多様な職員とかわりながら、細かな観察と適切な情報共有のもとに流れている。
3	タイトル	地域の動向把握に注力しており、地域に根付いた施設として、自治会との関係づくりや地域貢献に積極的に取り組んでいる
	内容	地域の教育や防災等の課題を検討する地区委員会への参加、特別支援学校との情報交換会への参加、地域の福祉施設や社会福祉協議会と協働で開催している地域支援会議へ参画するなど、地域の動向把握に注力している。また、地域との関係づくりに積極的に取り組んでおり、地元の自治会や地区委員会に施設を貸し出したり、夏祭りにも参加している。職員と利用者が地域清掃を行うなど、地域に根付いた施設としての活動を継続している。近隣の高齢者福祉施設などと協働で、高齢者の買い物支援に関する取り組みも進めており、さらなる展開が期待できる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	複雑な勤務形態の改善につながる各事業における働き方について、職員参加の下で検討を進めていくことが期待される
	内容	法人では、新規事業の開始が相次いだこともあって職員の勤務形態の複雑化が課題となっている。グループホームの宿泊勤務の応援に日中活動の事業から職員が派遣されており、職員自己評価でも改善への要望が挙げられていた。一方、職員の休暇希望についてはほぼ100%を満たすなど、働きやすさへの配慮も欠かしていない。今後は、グループホーム事業での宿泊専門職員を増やすための方策や、日中活動事業の利用者数を増やして職員配置を増やすことなど、職員の負担軽減につながる各事業のあり方を職員参加の下で検討し、実践していくことに期待したい。
2	タイトル	事業所の知名度や提供サービス周知のために、日常の活動をさらに活用する取り組みに期待したい
	内容	事業所では、B型事業所や短期入所などでの新たな利用者の獲得、スタッフ不足の改善と人材の育などの課題を解決するために、広報活動の充実が課題となっている。現在、ホームページを充実するための取り組みを行っていることから、その効果が期待されることである。また、広報誌やホームページに留まらず、事業所周辺の美化パトロールの実施時に事業所の名前を記したユニフォームを着用するなど、日々の活動をそのまま事業所のPR活動として積極的に取り組むような試みが期待される。
3	タイトル	今後の利用者及び家族の高齢化に備えて、入院・死亡時の家族との連携や役割分担の明確化に向けての検討が求められる
	内容	今後、利用者の高齢化・重度化により、緊急の入院や医療的ケアの必要性などが具体的な課題となることが予想される。現状においては、利用者の通院や入院など医療機関との関係は一義的に家族に任されているが、医療機関の情報が事業所に伝達されない、適切な医療の必要性などに関して中々理解が得られないなどの現状も指摘されている。今後、利用者及び家族の高齢化の進行が予想されることから、適切な医療の利用に制約が発生するなどの事態も想定されながら、将来に備えての対応の検討が必要と思われる。